



新潟樽砧 ～ 演劇で伝えた新潟湊の思い～ (2年生)

白新中学校

白新中学校では、学年ごとに創作演劇を行います。2年生は、今年は明和義人を題材としました。時代は明和、新潟湊では困窮する町民の暮らしを救おうと立ち上がり、藩に代わり自らの手で町政を実現した涌井藤四郎、岩船屋左次兵衛を中心とする人々の自主自立の精神を、樽砧の演奏を織り交ぜて表現しました。

明和義人祭の見学 (上古町商店街)



火坂雅志著「新潟樽きめた明和義人口伝」を読み、生徒が台本を作りました。題材のイメージをふくらませるため、毎年8月に上古町商店街で行われる「明和義人祭」を見に行きました。そこで、永島流新潟樽砧を聴いた生徒たちはその演奏に感銘を受け、演劇に生演奏を取り入れることを決め、伝承会の方に指導をお願いすることにしました。

明和義人祭で永島流新潟樽砧伝承会の演奏

永島流新潟樽砧伝承会の指導が実現し、伝承会の三浦梨恵子様から、新潟芸妓のリズムを丁寧に教えていただきました。



監督、助監督など演出を手掛ける題材選定委員の他、キャスト、衣装、メイク、照明、道具、音響、情報宣伝、会計をすべて生徒たちが分担し、それぞれ力を合わせて一つの演劇をつくり上げていきます。「東区市民劇団座・未来」の斉木としや先生から本格的な演技指導をしていただきました。

涌井藤四郎らを中心とした町民が立ち上がろうとする気迫を指導していただきました。



演劇の実際と顕彰之碑



本番は10月、学校の体育館で演じました。保護者、地域の方々も大勢見に来ていただき、迫力ある演劇に大きな拍手をいただきました。

長岡藩から届いた召喚状を読み上げる藤四郎。

「集会を主導した者に厳罰を与えねば…。涌井藤四郎を引っ捕えよ！」と述べる長岡藩。



永島流新潟樽砧伝承会の方から教えていただいた「時雨打ち」を叩く古町芸妓。お雪は樽砧の名手で、藤四郎に思いを寄せていました。



最後は、ステージにオールキャスト、オールスタッフが登場し、カーテンコールを受けてエンディングを迎えます。



新潟市の白山公園に建つ明和義人顕彰之碑。

